

令和 3年 1月

# 平井由佳 学位論文審査要旨

主 査 鈴 木 康 江  
副主査 片 岡 英 幸  
同 吉 岡 伸 一

## 主論文

Emotional intelligence and work perceptions among nurse managers

(看護師長の情動知能と業務の認識)

(著者：平井由佳、吉岡伸一)

令和 2年 Yonago Acta Medica 63巻 343～352頁

## 参考論文

1. 中学生の協同作業に対する認識と情動知能特性

(著者：平井由佳、橋本由里)

令和 2年 インターナショナルNursing Care Research 19巻 99～107頁

## 審査結果の要旨

本研究は、看護師長を対象に、情動知能尺度EQSにより情動知能特性を評価し、また看護師長の役割の認識について比較検討したものである。その結果、看護師長のEQS領域得点は自己対応領域得点が最も高く、社会人平均値と比較し、全ての領域得点ならびにほとんどの対応因子項目で得点が高いことが示された。EQS各領域得点と看護師長業務の重要度の認識について比較した結果、自己対応領域得点の高値群と低値群で有意差が認められた。自己対応領域得点高値群は、看護師長として組織のマネジメントを重要視し、人間関係の調整や働きやすい環境づくりといった情動知能的配慮と、部署での管理的リーダーシップ行動の両者をバランス良く重要視していることが示唆された。本論文の内容は、看護師長として望ましい情動知能の資質について示唆したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。